

スマート農業機械名	特 徴
<p>食味・収量コンバイン (株) クボタ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・食味・収量コンバインに搭載された食味センサが収穫作業と同時に籾の水分含有率やタンパク含有率を、収量センサが米、小麦などの収穫重量を計測する。 ・計測したほ場毎のデータがコンバインから経営管理システム（K S A S）に自動的に送信され、記録される。 <p>⇒ほ場毎の特性を把握することができ、次年度の施肥設計など栽培管理に活用できる</p> <p>※これまではほ場毎に食味や収量を把握することは困難だった。</p>
<p>直進キープ田植機 (株) クボタ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・G N S Sで測位情報を受信し、直進をキープするよう自動でハンドル操作し走行する。 <p>⇒熟練者でなくても精度の高い作業が可能</p> <p>⇒ハンドル操作から解放されオペレーターの疲労を大幅に軽減</p> <p>※GNSS:Global Navigation Satellite Systemの略。GPSなどの測位衛星を介して位置情報を取得する技術</p>
<p>自動操舵システム (株) トプコン</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの測位衛星GPSやロシアのGRONASS衛星などの測位衛星を介して測位情報を受信し、さらに測位精度を高めるために地上に設置した基準局で発信する「補正情報」を受信するRTK測位を行うことで2～3cmの誤差まで精度を高めた測位情報を利用する。 ・位置情報受信機、ハンドル、モニターを1セット導入することで、ロータリ等の作業機の幅に合わせて、最適な作業位置に自動でハンドル操作を行い誘導する。 <p>⇒熟練者でなくても精度の高い作業が可能</p> <p>⇒ハンドル操作から解放されオペレーターの疲労を大幅に軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家が所有する既存の農業機械に後付けが可能で、トラクター、田植機、乗用管理機など複数の機械に載せ替えて利用でき、スマート農業機械にバージョンアップできる。 <p>⇒機器の有効活用</p>
<p>環境モニタリング ニシム電子工業 (株)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物を栽培する水田や畑の気温、湿度、水位、水温、地温、土壌水分、風向、風速、雨量、照度を計測し、クラウド上に蓄積する。計測データはタブレット端末等でいつでも確認できる。 ・蓄積されたデータはグラフ形式で閲覧できる。また、「閾値」を任意に設定することができ、閾値を超えた場合はアラーム通知が届くため、ほ場の異常を素早く検知することができる。 <p>⇒ほ場の「見回り」の省力化が可能</p>